

いちご小型ポット苗の植えつけ角度及び植えつけ根長							
<p>[要約] <u>いちご棚式育苗システム</u>で育苗したいちご苗の<u>定植</u>は、20度程度斜めに傾けて植え付けると良い。<u>根鉢</u>を切断して定植すると収量が低下する。</p>							
園芸研究所・野菜花き部・野菜品種研究室						連絡先	092-922-4111
部会名	園 芸	専 門	栽 培	対 象	果 菜 類	分 類	普 及

[背景・ねらい]

いちご棚式育苗システムでは直径が小さく、長さが長い小型ポットを利用して育苗するため、定植時の苗は従来の12cmポリポット苗と比べて形状が大きく異なる。そこで、小型ポット苗の定植技術を確立するために、定植時の植えつけ角度及び根鉢の切断が収量に及ぼす影響を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- ①小型ポット苗を定植時に20度程度傾けて植え付けると、クラウン上部からの発根が促進されて収量が安定する（表1）とともに、傾斜方向に果房が伸長し、果房の方向がそろ（データ略）。
- ②小型ポット苗はポリポット苗に比べて根鉢がやや長い、根鉢先端を切断して定植すると活着が遅れ、初期収量が低下するので、根鉢の切断は避ける（表2）。

[成果の活用面・留意点]

- ①いちご棚式育苗システムの栽培基準作成の資料として活用する。
- ②苗の定植を機械化する場合の参考資料となる。
- ③根鉢をやむを得ず切断する場合には、切断長を5cm程度にとどめ、10cm以上の根長を確保する
- ④根鉢を切断して根長を短くすると、定植時の苗の固定が不安定になりやすい。

[具体的データ]

表1 定植時の植え付け角度別収量

植え付け 角 度	3年		4年		5年		3か年平均	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a
0 度	1.07	1.26	1.37	2.69	1.22	2.18	1.22 (100)	2.04 (100)
22.5度	1.19	1.53	1.38	2.85	1.33	2.23	1.30 (107)	2.20 (108)
45.0度	1.23	1.56	1.32	2.69	1.40	2.15	1.32 (108)	2.13 (104)

注) ①植え付け角度 0 度：垂線（床面に対して直角）  
 22.5度：垂線に対して22.5度傾斜  
 45.0度：垂線に対して45.0度傾斜

②前期：1月までの収量

後期：2～4月の収量、但し、3年は2～3月の収量

③（ ）は0度の収量を100としたときの指数

表2 定植時の根長別収量

根 長	4年		5年		2か年平均	
	1月まで	2～4月	1月まで	2～4月	1月まで	2～4月
	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a	t/10a
15cm	1.32	2.69	1.53	2.27	1.43 (100)	2.48 (100)
12cm	1.23	2.66	1.52	2.01	1.38 ( 97)	2.34 ( 94)
9cm	1.24	2.88	1.58	2.01	1.41 ( 99)	2.45 ( 99)
6cm	1.22	2.88	1.42	2.01	1.27 ( 89)	2.45 ( 99)

注) ①根長 植え付け時に根鉢の先端部を切断し、根鉢の長さを根長として表した。  
 根長15cmが無処理（無切断）を意味する。

②（ ）は根長15cmの収量を100としたときの指数

[その他]

研究課題名：イチゴ超省力生産システムの開発

予算区分：経常

研究期間：平成5年度（平成4～7年）

研究担当者：伏原肇，林 三徳，柴戸靖志

発表論文等：平成4～5年園芸研究所野菜花き部野菜品種研究室試験成績書